

技術経営専門職学位課程 学修課程

【技術経営専門職学位課程】

人材養成の目的

イノベーション創出のリーダーとして、科学・技術を活用し、自ら理論を構築し、産業や社会の発展に貢献することができる実務家の養成を目的とする。科学研究・技術開発に強みを有する本学の強みを活かし、社会人を中心とする様々な専門性を背景とする学生を受け入れ、社会に輩出する。

学修目標

本課程では、上記の目的の達成のために、次のような能力の修得を学修目標としている。

- 分析、思考、コミュニケーションの方法論
- 技術経営に関する専門的なリテラシー
- 経済や社会に対する広範な理解
- イノベーション人材としてのキャリアを自ら開拓する力
- 広義の研究を通じたイノベーション実践力

学修内容

本課程では、「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために、次のような内容の学修を行う。

- A: 技術経営基礎科目群
 - 判断のための論理を事実に基づいて自ら構築し、自らが先頭に立って行動することで困難を打開するための、分析や思考、コミュニケーションの基礎力を養成するための科目群。
- B: 技術経営専門科目群
 - 技術や経営に関する卓越した知を創造し、新規事業やプロジェクトを戦略的に設計・立案し実行していくための方法論やリテラシーを習得するための科目群。
- C: 経済・社会システム専門科目群
 - 科学・技術知の創造を促し、科学・技術知の社会科・産業化を進めることを通じて、豊かな社会を実現するための経済や社会に対する広範な理解を体系的に得るための科目群。
- D: 技術経営実践科目群
 - 科学・技術や産業、政策、マネジメント等に関する最前線の動向を把握するとともに、自らを見つめ直し、自分自身でキャリアを切り開いていくための礎とするための実践的科目群。
- E: 講究・インターンシップ科目群
 - 課題を自ら設定し、課題を解決するために事象と理論を深く探求するという広義の研究活動を通じ、イノベーションのための実践的な能力を涵養するための科目群。

修了要件

本課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

- 40 単位以上を、以下の要件を満たしつつ大学院授業科目（400 及び 500 番台）から取得していること。
 - 必修科目
 - 講究科目 8 単位
 - 文系教養科目 3 単位（400 番台科目から 2 単位，500 番台科目から 1 単位）
 - アントレプレナーシップ科目 2 単位
 - 選択必修科目
 - A 群 400 番台から 4 単位
 - B 群から 4 単位
 - C 群から 4 単位
 - D 群または E 群から 2 単位
- プロジェクトレポートの審査及び最終試験に合格すること

表M1 に本課程における授業科目区分と課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと，また科目群ごとに指定され，「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては，科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表M1 技術経営専門職学位課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		・ 400 番台科目から 2 単位以上 ・ 500 番台科目から 1 単位以上	5 単位以上	A, B, C	
	アントレプレナーシップ科目		2 単位以上		A, B, C, D, E	後述の GA を原則として全て満たすこと。
	その他					
専門科目群	講究科目	技術経営講究 S1 技術経営講究 F1 技術経営講究 S2 技術経営講究 F2 を各 2 単位, 計 8 単位		標準学修課程の専門科目群から 25 単位以上	E	
	研究関連科目					
	専門科目		A 群 400 番台から 4 単位 B 群から 4 単位 C 群から 4 単位 D 群または E 群から 2 単位		A, B, C, D, E	
	課程標準学修課程以外の専門科目又は研究関連科目					
修了単位合計		40 単位以上修得すること				

【備考】

- ・ 文系教養科目，アントレプレナーシップ科目の詳細は，「Ⅲ．教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
- ・ 外国人留学生在が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合，対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表M2に本課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については，本課程が指定する他コースの専門科目等を示し，修得した場合，「科目区分」欄に記載された，本課程の標準学修課程の「専門科目」，「研究関連科目」として取り扱われる。

表M2 技術経営専門職学位課程専門科目群

科目 区分		科目コード	科目名			単位数	身に付け る力	学修 内容	備考
講究 科目	400 番台	TIM. Z491. R	◎		技術経営講究 S1 (Seminar on Technology and Innovation Management S1)	0-1-1	1, 2, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室に よる
		TIM. Z492. R	◎		技術経営講究 F1 (Seminar on Technology and Innovation Management F1)	0-1-1	1, 2, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室に よる
	500 番台	TIM. Z591. R	◎		技術経営講究 S2 (Seminar on Technology and Innovation Management S2)	0-1-1	1, 2, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室に よる
		TIM. Z592. R	◎		技術経営講究 F2 (Seminar on Technology and Innovation Management F2)	0-1-1	1, 2, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室に よる
専門 科目	400 番台	TIM. A401. A	○		経営・財務分析基礎 I (Methodology of Corporate Management and Finance I)	0.5-0.5-0	1, 2, 5	A	
		TIM. A402. A	○		経営・財務分析基礎 II (Methodology of Corporate Management and Finance II)	0.5-0.5-0	2, 5	A	
		TIM. A403. A	○		政治・経済分析基礎 I (Methodology of Political Science and Economics I)	0.5-0.5-0	1, 2, 3, 4, 5	A	
		TIM. A404. A	○		政治・経済分析基礎 II (Methodology of Political Science and Economics II)	0.5-0.5-0	1, 2, 5	A	
		TIM. A405. A	○		数理情報分析基礎 I (Methodology of Mathematical and Computational Analysis I)	0.5-0.5-0	1, 5	A	
		TIM. A406. A	○		数理情報分析基礎 II (Methodology of Mathematical and Computational Analysis II)	0.5-0.5-0	1, 5	A	
		TIM. A412. A	○		ユーザリサーチ概論 (An introduction to user	1-0-0	1, 2, 4	A	

				research)				
	TIM. A413. A	○		コミュニケーションデザイン論 (Communication Design:Theory & Practice)	0-1-0	3, 4, 5	A	エンジニアリングデザインコース開講科目 (ESD. C404)
	TIM. A414. A	○		社会科学のモデル・実験入門 (Introduction to Models and Experiments in Social Science)	0.5-0.5-0	1, 4, 5	A	
	TIM. A415. A	○		ビジネスデータサイエンス (Business Data Science)	0.5-0.5-0	1, 4, 5	A	
	TIM. A416. A	○		サービスサイエンス (Service Science)	1-0-0	1, 2, 4, 5	A	
	TIM. A417. C	○		生産性分析の基礎と応用 (Fundamentals and applications of productivity analysis)	0.5-0.5-0	1, 2, 4	C	
	TIM. A418. A	○		金融工学 (Financial Engineering) ”	1-0-0	1, 2, 5	A	
	TIM. A419. A	○		デジタルマーケティング (Digital Marketing)	1-0-0	1, 5	A	
	TIM. A420. A	○		ユーザ調査法 (Study design in user research)	0.5-0.5-0	3, 4, 5	A	
	TIM. B410. B	○		イノベーション論 I (Innovation Management I)	1-0-0	3, 4, 5	B	
	TIM. B411. B	○		イノベーション論 II (Innovation Management II)	1-0-0	1, 3, 4, 5	B	
	TIM. B412. B	○		R&D 戦略 I (Strategic Management for Research and Development I)	1-0-0	2, 3, 4, 5	B	
	TIM. B413. B	○		R&D 戦略 II (Strategic Management for Research and Development II)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	B	
	TIM. B414. B	○		経営戦略論 I (Strategic Management I)	1-0-0	1, 4, 5	B	奇数年度開講
	TIM. B415. B	○		経営戦略論 II (Strategic Management II)	1-0-0	1, 4, 5	B	奇数年度開講
	TIM. B416. B	○		経営組織論 I (Organizational	1-0-0	1, 4, 5	B	偶数年度開講

					Management I)				
		TIM. B417. B	○		経営組織論 II (Organizational Management II)	1-0-0	1, 4, 5	B	偶数年度開講
		TIM. B420. B	選 択	★	Marketing for Value Creation (価値創造のためのマーケティング)	1-0-0	1, 4, 5	B	エネルギー・情報コース, エネルギー・情報卓越教育課程優先 エネルギー・情報卓越教育課程開講科目 (ENI. H401)
		TIM. C401. C	○		ビジネスエコシステム論 I (Ecosystem Management I)	1-0-0	1, 4, 5	C	
		TIM. C402. C	○		ビジネスエコシステム論 II (Ecosystem Management II)	1-0-0	1, 4, 5	C	
		TIM. C410. C	○		イノベーション政策概論 I (Innovation Policy I)	1-0-0	1, 2, 4, 5	C	
		TIM. C411. C	○		イノベーション政策概論 II (Innovation Policy II)	1-0-0	1, 2, 4, 5	C	
		TIM. C416. C	選 択	★	Finance and Data Analysis in Energy Markets (エネルギー市場のファイナンスとデータ分析)	1-0-0	1, 4, 5	C	エネルギー・情報コース, エネルギー・情報卓越教育課程優先 エネルギー・情報卓越教育課程開講科目 (ENI. H402)
		TIM. C417. C	選 択	★	Economic Development and Energy Policies (経済開発とエネルギー政策)	1-0-0	1, 4, 5	C	エネルギー・情報コース, エネルギー・情報卓越教育課程優先 エネルギー・情報卓越教育課程開講科目 (ENI. H403)
		TIM. D403. D	○		リサーチリテラシー演習 (Exercises in Research Literacy)	0-1-0	3, 4, 5	D	
		TIM. E410. E	○		技術経営インターンシップ A (Technology and Innovation Management Internship A)	0-0-2	1, 2, 3, 4, 5	E	
500 番台		TIM. A510. L	選 択		社会シミュレーション I (Social Simulation I)	0.5-0.5-0	1, 5	A	
		TIM. A511. L	選 択		社会シミュレーション II (Social Simulation II)	0.5-0.5-0	1, 5	A	

		TIM. A534. L	選 択		コーポレートファイナンス I (Corporate Finance I)	1-0-0	1, 5	A	
		TIM. A535. L	選 択		コーポレートファイナンス II (Corporate Finance II)	1-0-0	1, 5	A	
		TIM. A536. L	選 択		証券投資論 I (Investments in securities I)	1-0-0	1, 2, 5	A	
		TIM. A537. L	選 択		証券投資論 II (Investments in securities II)	1-0-0	1, 2, 5	A	
		TIM. A540. L	選 択		科学技術政策と社会的課題 I (Science and Technology Policies & Social Issues I)	1-0-0	1, 2, 3,	A	
		TIM. A541. L	選 択		科学技術政策と社会的課題 II (Science and Technology Policies & Social Issues II)	1-0-0	1, 2, 3,	A	
		TIM. B513. B	○		サービスイノベーション論 I (Service Innovation I)	1-0-0	1, 4, 5	B	2026 年度休講
		TIM. B514. B	○		サービスイノベーション論 II (Service Innovation II)	1-0-0	1, 4, 5	B	2026 年度休講
		TIM. B517. B	○		知的財産マネジメント I (Management of Intellectual Property I)	1-0-0	1, 4, 5	B	
		TIM. B518. B	○		知的財産マネジメント II (Management of Intellectual Property II)	1-0-0	1, 4, 5	B	
		TIM. B519. B	○		リスク・クライシスマネジ メント分析 (Analysis of Risk and Crisis Management)	1-0-0	2, 3, 4, 5	B	2026 年度休講
		TIM. B531. B	○		情報と知識のマネジメント I (Management of Information and Knowledge I)	1-0-0	1, 4	B	
		TIM. B532. B	○		情報と知識のマネジメント II (Management of	1-0-0	1, 4	B	

			Information and Knowledge II)				
	TIM. B536. B	○	計算社会科学 (Computational Social Science)	0.5-0.5-0	1, 4, 5	B	
	TIM. C510. C	○	科学技術政策分析 I (Science, Technology and Innovation Policy Analysis I)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	
	TIM. C511. C	○	科学技術政策分析 II (Science, Technology and Innovation Policy Analysis II)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	
	TIM. C512. C	○	エネルギー技術と経済・社会システム I (Energy Technology and Social System I)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	偶数年度開講
	TIM. C513. C	○	エネルギー技術と経済・社会システム II (Energy Technology and Social System II)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	奇数年度開講
	TIM. C514. C	○	バイオ医療技術と経済・社会システム I (Biomedical Technology and Social System I)	1-0-0	1, 2, <u>5</u>	C	
	TIM. C515. C	○	バイオ医療技術と経済・社会システム II (Biomedical Technology and Social System II)	1-0-0	1, 2, <u>5</u>	C	
	TIM. C516. C	○	情報・サービスと経済・社会システム I (Information and Service Science for Social System I)	1-0-0	1, 3, 4, 5	C	
	TIM. C517. C	○	情報・サービスと経済・社会システム II (Information and Service Science for Social System II)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	
	TIM. C518. C	○	インフラストラクチャーと経済・社会システム I (Infrastructure and Social System I)	0.5-0.5-0	1, 2, 4	C	
	TIM. C519. C	○	インフラストラクチャーと	0.5-0.5-0	1, 2, 4	C	

				経済・社会システムⅡ (Infrastructure and Social SystemⅡ)				
	TIM. C520. C	○		エネルギー市場とリスク管理 (Energy Market and Risk Management) ”	1-0-0	1, 4, 5	C	
	TIM. D510. D	○		先端技術とイノベーションⅠ (Leading-Edge Technology and Innovation I)	0-1-0	2, 4, 5	D	
	TIM. D511. D	○		先端技術とイノベーションⅡ (Leading-Edge Technology and Innovation II)	0-1-0	2, 4, 5	D	
	TIM. D512. D	○		イノベーション実践セミナーⅠ (Practical Lectures on Innovation I)	0-1-0	4, 5	D	
	TIM. D513. D	○		イノベーション実践セミナーⅡ (Practical Lectures on Innovation II)	0-1-0	4, 5	D	
	TIM. D514. D	○		経営者論セミナーⅠ (Lectures by Business Leaders I)	0-1-0	2, 4, 5	D	
	TIM. D515. D	○		経営者論セミナーⅡ (Lectures by Business Leaders II)	0-1-0	2, 4, 5	D	
	TIM. D516. D	○		アントレプレナーシップと事業創成Ⅰ (Entrepreneurship and Business Development I)	0.5-0.5-0	1, 4, 5	D	
	TIM. D517. D	○		アントレプレナーシップと事業創成Ⅱ (Entrepreneurship and Business Development II)	0.5-0.5-0	3, 4, 5	D	
	TIM. D518. D	○		先端技術とイノベーションⅢ (Leading-Edge Technology and Innovation III)	0-1-0	2, 4, 5	D	2026 年度休講
	TIM. D519. D	○		先端技術とイノベーション	0-1-0	2, 4, 5	D	2026 年度休講

				IV (Leading-Edge Technology and Innovation IV)				
		TIM. E518. E	○	技術経営インターンシップ B (Technology and Innovation Management Internship B)	0-0-6	1, 2, 3, 4, 5	E	

・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，○：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目
 ・身に付ける力：1，専門力 2，教養力 3，コミュニケーション力 4，展開力（探究力又は設定力） 5，展開力（実践力又は解決力）
 ・備考：他）▲▲コース開講科目（カッコ内は開講元のコースにおける科目コード）
 ・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D400.R の「D」の項目）A：技術経営基礎科目群，B：技術経営専門科目群，C：経済・社会システム専門科目群，D：技術経営実践科目群，E：講究・インターンシップ科目群

文系教養科目対応科目

本課程では，文系教養科目としてみなすことが出来る専門科目として表M3の科目が用意されている。
 なお，対応科目を文系教養科目として修了要件に含めた場合，専門科目として修了要件に含めることが出来ない
 ので留意すること。

表M3 技術経営専門職学位課程 文系教養科目対応科目

科目 区分	科目コード	科目名	単位数	身に 付け る力	学修 内容	備考
文系教養科目として みなすことが できる専門 科目	TIM. A403. A	○ 政治・経済分析基礎 I (Methodology of Political Science and Economics I)	0.5- 0.5-0	1, 2, 3, 4, 5	A	
	TIM. A404. A	○ 政治・経済分析基礎 II (Methodology of Political Science and Economics II)	0.5- 0.5-0	1, 2, 5	A	
	TIM. C401. C	○ ビジネスエコシステム論 I (Ecosystem Management I)	1-0-0	1, 4, 5	C	
	TIM. C402. C	○ ビジネスエコシステム論 II (Ecosystem Management II)	1-0-0	1, 4, 5	C	
	TIM. C410. C	○ イノベーション政策概論 I (Innovation Policy I)	1-0-0	1, 2, 4, 5	C	
	TIM. C411. C	○ イノベーション政策概論 II (Innovation Policy II)	1-0-0	1, 2, 4, 5	C	
	TIM. A510. L	選 社会シミュレーション I 択 (Social Simulation I)	0.5- 0.5-0	1, 5	A	
	TIM. A511. L	選 社会シミュレーション II 択 (Social Simulation II)	0.5- 0.5-0	1, 5	A	
	TIM. B519. B	○ リスク・クライシスマネジメント 分析	1-0-0	2, 3, 4, 5	B	2026 年度休講

			(Analysis of Risk and Crisis Management)				
	TIM. B531. B	○	情報と知識のマネジメント I (Management of Information and Knowledge I)	1-0-0	1, 4	B	
	TIM. B532. B	○	情報と知識のマネジメント II (Management of Information and Knowledge II)	1-0-0	1, 4	B	
	TIM. C510. C	○	科学技術政策分析 I (Science, Technology and Innovation Policy Analysis I)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	
	TIM. C511. C	○	科学技術政策分析 II (Science, Technology and Innovation Policy Analysis II I)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	
	TIM. C512. C	○	エネルギー技術と経済・社会システム I (Energy Technology and Social System I)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	偶数年度開講
	TIM. C513. C	○	エネルギー技術と経済・社会システム II (Energy Technology and Social System II)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	奇数年度開講
	TIM. C514. C	○	バイオ医療技術と経済・社会システム I (Biomedical Technology and Social System I)	1-0-0	1, 2, 5	C	
	TIM. C515. C	○	バイオ医療技術と経済・社会システム II (Biomedical Technology and Social System II)	1-0-0	1, 2, 5	C	
	TIM. C516. C	○	情報・サービスと経済・社会システム I (Information and Service Science for Social System I)	1-0-0	1, 3, 4, 5	C	
	TIM. C517. C	○	情報・サービスと経済・社会システム II (Information and Service Science for Social System II)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	C	
上記科目の他、教養科目群文系教養科目から選択すること。（「Ⅳ. 教養科目群履修案内」参照）							

アントレプレナーシップ科目およびアントレプレナーシップ科目対応科目

本課程の修了要件に記されるアントレプレナーシップ科目については、「Ⅲ. 教養科目群履修案内＞アントレプレ

ナーシップ科目>アントレプレナーシップ教育コア(修士課程)」の「表 M-1」に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし、2 単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については、修了時に課程で判定する。複数の GA が対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために、アントレプレナーシップ科目に加えて、アントレプレナーシップ科目としてみなすことができる専門科目及びコースで開講するアントレプレナーシップ科目として、表M 4 の科目が用意されている。

なお、対応科目をアントレプレナーシップ科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることができないので留意すること。また、これらの科目をアントレプレナーシップ科目としてみなさなかった場合でも、対応する GA は修得したものとすることができる。

【参考】アントレプレナーシップ科目の履修案内より

表 M-1 修士課程学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

GAOM：自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる

GA1M：自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理、アントレプレナー等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる

表M 4 技術経営専門職学位課程 アントレプレナーシップ科目対応科目及びコースで開講するアントレプレナーシップ科目

対応科目 区分	科目コード	科目名	単位数	対応 する GA	学修 内容	備考
アントレプレ ナーシッ プ科目とし てみなすこ とができる 専門科目	TIM. A401. A	○ 経営・財務分析基礎 I (Methodology of Corporate Management and Finance I)	0.5- 0.5-0	GAOM	A	
	TIM. A402. A	○ 経営・財務分析基礎 II (Methodology of Corporate Management and Finance II)	0.5- 0.5-0	GAOM	A	
	TIM. A405. A	○ 数理情報分析基礎 I (Methodology of Mathematical and Computational Analysis I)	0.5- 0.5-0	GAOM	A	
	TIM. A406. A	○ 数理情報分析基礎 II (Methodology of Mathematical and Computational Analysis II)	0.5- 0.5-0	GAOM	A	
	TIM. A412. A	○ ユーザリサーチ概論 (An introduction to user research)	1-0-0	GAOM	A	
	TIM. A413. A	○ コミュニケーションデザイン論 (Communication Design:Theory & Practice)	0-1-0	GA1M	A	エンジニアリングデザイ ンコース開講科目 (ESD. C404)
	TIM. A414. A	○ 社会科学のモデル・実験入門 (Introduction to Models and Experiments in Social Science)	0.5- 0.5-0	GAOM	A	
	TIM. A419. A	○ デジタルマーケティング	1-0-0	GA1M	A	

			(Digital Marketing)				
TIM. A420. A	○		ユーザ調査法 (Study design in user research)	0.5- 0.5-0	GA1M	A	
TIM. B410. B	○		イノベーション論 I (Innovation Management I)	1-0-0	GAOM	B	
TIM. B411. B	○		イノベーション論 II (Innovation Management II)	1-0-0	GAOM	B	
TIM. B412. B	○		R&D 戦略 I (Strategic Management for Research and Development I)	1-0-0	GAOM	B	
TIM. B413. B	○		R&D 戦略 II (Strategic Management for Research and Development II)	1-0-0	GAOM	B	
TIM. B414. B	○		経営戦略論 I (Strategic Management I)	1-0-0	GAOM	B	奇数年度開講
TIM. B415. B	○		経営戦略論 II (Strategic Management II)	1-0-0	GAOM	B	奇数年度開講
TIM. B416. B	○		経営組織論 I (Organizational Management I)	1-0-0	GAOM	B	偶数年度開講
TIM. B417. B	○		経営組織論 II (Organizational Management II)	1-0-0	GAOM	B	偶数年度開講
TIM. D403. D	○		リサーチリテラシー演習 (Exercises in Research Literacy)	0-1-0	GAOM	D	
TIM. E410. E	○		技術経営インターンシップ A (Technology and Innovation Management Internship A)	0-0-2	GAOM	E	
TIM. A534. L	選 択		コーポレートファイナンス I (Corporate Finance I)	1-0-0	GA1M	A	
TIM. A535. L	選 択		コーポレートファイナンス II (Corporate Finance II)	1-0-0	GA1M	A	
TIM. A536. L	選 択		証券投資論 I (Investments in securities I)	1-0-0	GA1M	A	
TIM. A537. L	選 択		証券投資論 II (Investments in securities II)	1-0-0	GA1M	A	
TIM. B513. B	○		サービスイノベーション論 I (Service Innovation I)	1-0-0	GA1M	B	2026 年度休講
TIM. B514. B	○		サービスイノベーション論 II (Service Innovation II)	1-0-0	GA1M	B	2026 年度休講
TIM. B517. B	○		知的財産マネジメント I (Management of Intellectual Property I)	1-0-0	GA1M	B	
TIM. B518. B	○		知的財産マネジメント II	1-0-0	GA1M	B	

			(Management of Intellectual Property I I)				
	TIM. C518. C	○	インフラストラクチャーと経済・社会システム I (Infrastructure and Social System I)	0.5-0.5-0	GA1M	C	
	TIM. C519. C	○	インフラストラクチャーと経済・社会システム II (Infrastructure and Social System II)	0.5-0.5-0	GA1M	C	
	TIM. D510. D	○	先端技術とイノベーション I (Leading-Edge Technology and Innovation I)	0-1-0	GA1M	D	
	TIM. D511. D	○	先端技術とイノベーション II (Leading-Edge Technology and Innovation II)	0-1-0	GA1M	D	
	TIM. D512. D	○	イノベーション実践セミナー I (Practical Lectures on Innovation I)	0-1-0	GA1M	D	
	TIM. D513. D	○	イノベーション実践セミナー II (Practical Lectures on Innovation II)	0-1-0	GA1M	D	
	TIM. D514. D	○	経営者論セミナー I (Lectures by Business Leaders I)	0-1-0	GA1M	D	
	TIM. D515. D	○	経営者論セミナー II (Lectures by Business Leaders II)	0-1-0	GA1M	D	
	TIM. D516. D	○	アントレプレナーシップと事業創成 I (Entrepreneurship and Business Development I)	0.5-0.5-0	GA1M	D	
	TIM. D517. D	○	アントレプレナーシップと事業創成 II (Entrepreneurship and Business Development II)	0.5-0.5-0	GA1M	D	
	TIM. D518. D	○	先端技術とイノベーション III (Leading-Edge Technology and Innovation III)	0-1-0	GA1M	D	2026 年度休講
	TIM. D519. D	○	先端技術とイノベーション IV (Leading-Edge Technology and Innovation IV)	0-1-0	GA1M	D	2026 年度休講
	TIM. E518. E	○	技術経営インターンシップ B (Technology and Innovation Management Internship B)	0-0-6	GA1M	E	
アントレプ	TIM. D520		修士リカレント研修 1-1 (技術経	0-0-1	GA0M		※技術経営専門職学位課

レナーシップ科目			営専門職学位課程) Master's Recurrent Program 1-1 of Technology and Innovation Management		GA1M		程で開講するアントレプレナーシップ科目である。 専門科目にはならない。
	TIM. D521		修士リカレント研修 1-2 (技術経営専門職学位課程) Master's Recurrent Program 1-2 of Technology and Innovation Management	0-0-1	GAOM GA1M		※技術経営専門職学位課程で開講するアントレプレナーシップ科目である。 専門科目にはならない。
	TIM. D522		修士リカレント研修 2 (技術経営専門職学位課程) Master's Recurrent Program 2 of Technology and Innovation Management	0-0-2	GAOM GA1M		※技術経営専門職学位課程で開講するアントレプレナーシップ科目である。 専門科目にはならない。
上記科目の他、教養科目群アントレプレナーシップ科目から選択すること。（「Ⅲ. 教養科目群履修案内」参照）							

なお、データサイエンス・AI 全学教育機構でも、「Ⅲ. 教養科目群履修案内＞アントレプレナーシップ科目＞アントレプレナーシップ教育コア（修士課程）」に記載されている科目以外にアントレプレナーシップ科目とみなすことができる科目が用意されており、開講元の判断で履修できる場合がある。具体的な科目、履修要件等は、Ⅵ. データサイエンス・AI 全学教育機構の学修案内を参照のこと。

科目体系図

A: 技術経営基礎科目群	B: 技術経営専門科目群	C: 経済・社会システム専門科目群
400番台 経営・財務分析基礎(1-1-0) 政治・経済分析基礎(1-1-0) 数理情報分析基礎(1-1-0) ユーザリサーチ概論(1-0-0) コミュニケーションデザイン論(0-1-0) 社会科学のモデル・実験入門(0.5-0.5-0) ビジネスデータサイエンス(0.5-0.5-0) サービスサイエンス(1-0-0) 生産性分析の基礎と応用(0.5-0.5-0) 金融工学(1-0-0) デジタルマーケティング(1-0-0) ユーザ調査法(0.5-0.5-0) 500番台 社会シミュレーション(1-1-0) ユーポレートファイナンス(2-0-0) 証券投資論(2-0-0) 科学技術政策と社会的課題(2-0-0)	400番台 イノベーション論(2-0-0) R&D戦略(2-0-0) 経営戦略論(2-0-0) 経営組織論(2-0-0) 500番台 サービスイノベーション論(2-0-0) 知的財産マネジメント(2-0-0) リスク・クライシスマネジメント分析(2-0-0) 情報と知識のマネジメント(2-0-0) 計算社会科学(0.5-0.5-0)	400番台 ビジネスエコシステム論(2-0-0) イノベーション政策概論(2-0-0) 500番台 科学技術政策分析(2-0-0) エネルギー技術と経済・社会システム(2-0-0) バイオ医療技術と経済・社会システム(2-0-0) 情報・サービスと経済・社会システム(2-0-0) インフラストラクチャーと経済・社会システム(1-1-0) エネルギー市場とリスク管理(1-0-0)
修了要件 ・以下の要件を満足して40単位を取得 ・講究科目(8単位) ・文系教養科目(3単位) ・キャリア科目(2単位) ・A群400番台科目(4単位) ・B群科目(4単位) ・C群科目(4単位) ・D群またはE群科目(2単位) ・プロジェクトレポートの合格	D: 技術経営実践科目群 400番台 リサーチリテラシー演習(0-1-0) 500番台 先端技術とイノベーション(0-4-0) イノベーション実践セミナー(0-2-0) 経営者論セミナー(0-2-0) アントレプレナーシップと事業創成(1-1-0) 修士リカレント研修1(0-0-1) 修士リカレント研修2(0-0-2)	E: 講究・インターンシップ科目群 400番台 技術経営インターンシップA(0-0-2) 技術経営講究(0-2-2) 500番台 技術経営インターンシップB(0-0-6) 技術経営講究(0-2-2)

標準的履修例



プロジェクトレポート

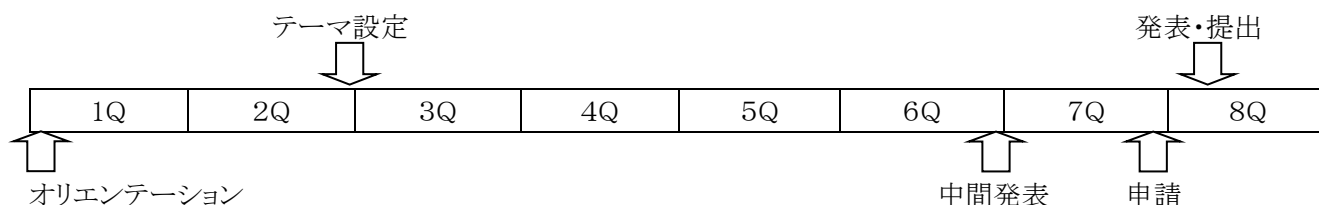
プロジェクトレポートは、各学生が実務で培った知識や経験に加え、本課程で開講されている講義等を受講することで得られる学理や方法論などを用いて、指導教員のもと、調査・研究プロジェクトを実施し、その結果をレポートとしてまとめたものである。

プロジェクトレポートの執筆ならびにそのための調査研究の実施を通じ、学んだ学理や方法論等を実務に応用する方法を習得するとともに、課題設定や課題解決、そのために必要な論理的思考と論拠に基づき独自の論理を構築する能力を向上させることを目的としている。これらの能力は実務における課題解決においても、学術的研究においても必要不可欠なものである。

プロジェクトレポートでは、技術経営に関連する特定のテーマを取り上げ、調査研究を行った過程と結果を報告する。また、技術経営分野における先行研究の調査を行い、自身の位置づけや貢献を明確にすることが求められる。

具体的には、研究開発や技術ならびに企業・産業の動向、政策や制度、社会や国際情勢などに関して、網羅的に調査し、その結果を整理して記述する。そのうえで、定性的・定量的問わず独自のデータを収集・分析し、独自の問題意識（社会的・産業的課題の認識や要請）に基づき課題を抽出する。さらに、課題の重要性を論理的に記述し、課題の背景にある因果関係について分析・考察する。その課題を解決するための新たな製品やサービス、ビジネスモデルやエコシステム、政策や制度を設計し、プロトタイピングの作成や実装を行い、ユーザーや当事者等に対するインパクト評価を行う。また、上記を実施するための方法論を開発する。これらの一連のサイクルについてその過程と結果を報告する、もしくは、そのサイクルの一部を取り上げ報告するものとする。

本項に関する最新の情報は、技術経営専門職学位課程の定める「プロジェクトレポートガイドライン」を参照のこと。



付図1 技術経営専門職学位課程におけるプロジェクトレポートの流れ